

千葉県自動車大学校

学校自己評価報告書

(平成 30 年度)

目次（評価項目一覧）

1. 教育理念・目標

- 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか
- 育成人材像は専門分野に関連する業界ニーズに適合しているか
- 社会ニーズを踏まえた学校の将来構想は抱いているか
- 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか

2. 学校運営

- 目的を達成するため運営方針と事業計画が策定されているか
- 運営組織、設置法人は組織運営を適切に行っているか
- 人事、給与に関する規定などは整備されているか
- 学校運営上、権限や役割を明確にした組織整備など意思決定システムは整備されているか
- 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

3. 教育活動

- 理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか
- 各科目の教育目標、育成人材像は業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか
- 各科目のカリキュラムは、目標達成に向け教育課程が編成されているか
- 教育内容の見直しが定期的に行われているか
- キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立った各科目の指導内容、方法等を示したシラバス（教案）が作成されているか
- 学生による授業評価を実施しているか
- 授業内容の設計や授業方法等について、その適否につき把握・評価する体制があるか
- 成績評価・進級認定・修了認定・卒業認定の基準は明確化し適切に運用しているか
- 目標とする資格・免許はカリキュラム上で明確に定められているか
- 資格・要件を備えた教員を確保しているか
- 教員の教授力（インストラクションスキル）を向上させる研修を行っているか
- 教育活動などに関する情報公開が適切になされているか

4. 学修成果

- 就職成果とその推移に関する情報を明確に把握し、就職率の向上が図られているか
- 資格取得者数とその推移に関する情報を明確に把握し、取得率の向上が図られているか
- その他自動車整備業界関連の資格取得はなされているか
- 卒業生・在校生の社会的な活躍、評価を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか

5. 学生支援

- 学生の就職・進路指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか
- 退学率の低減が図られているか
- 就職に関する説明会や学生個別相談を実施しているか
- 就職の具体的な活動に関する指導を実施しているか
- 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか
- 経済的な側面に対する支援体制が整備され、有効に機能しているか
- 定期的に健康診断を行うなど学生の健康面での支援体制はあるか
- スポーツ等の部活動、課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか
- 遠隔地出身者のための学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか
- 保護者と適切に連携しているか
- 卒業生を支援する体制が整備され、有効に機能しているか

6. 教育環境

- 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか
- 学外実習、インターンシップ等、外部の関係機関と連携し、十分な実施体制を整備しているか
- 学外実習、インターンシップ等について、その実績を把握し教育効果を確認しているか
- 防災に対する組織体制は整備されているか。

7. 学生募集

- 学生募集活動は適正に行われているか
- 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
- 入学選考は適正かつ公平な基準に基づき行われているか
- 学生納付金は経費内容に対応し、妥当なものとなっているか

8. 財務

- 法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか
- 教育目標との整合性を図り予算・収支計画を策定しているか
- 財務に関する会計監査は適正に行われているか
- 財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか

9. 法令などの遵守

- 法令、専門学校設置基準などの遵守と適正な運営がなされているか
- 個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか
- 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか
- 自己評価を公開しているか

10. 社会貢献・地域貢献

- 学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献が行われているか
- 学生のボランティア活動を奨励、支援をしているか
- 地域に対する公開講座・教育訓練の受託などを積極的に行われているか

1. 教育理念・目標

評価 適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	採点
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4
社会ニーズを踏まえた学校の将来構想は抱いているか	4
育成人材像は専門分野に関連する業界ニーズに適合しているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	3

現状

- 本校は、教育基本法及び学校基本法に基づき、自動車整備について専修学校教育を行い、その応用能力と優れた人格とを涵養し、もって自動車業界に有用な実践力に富む中堅の人材を育成することによって、交通産業の健全な発展を期することを目的としている。
- 本校は、千葉県下約2,180の整備事業者が組織する千葉県自動車整備商工組合を母体とし、次世代を担う後継者を養成するために設立されている。
- 「より高い人格の形成」「練磨された技能の習得」「お客様に信頼と満足を提供できる人材の育成」という3つの教育方針を掲げ、プロフェッショナルとしての知識や技術を指導するだけでなく、組合員企業にてインターンシップを行うなどして、より高い人格の形成や向上心の育成を図っている。

課題と改善点

- 社会ニーズは、設立母体の千葉県自動車整備商工組合と千葉県自動車整備振興会のネットワークを活用し、情報収集をしている。
- 保護者への周知については、ホームページで公開しているが、まだ不十分であり周知方法が今後の課題である。

2. 学校運営

評価 適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	採点
目的を達成するため運営方針と事業計画が策定されているか	4
運営組織、設置法人は組織運営を適切に行っているか	4
人事、給与に関する規定などは整備されているか	4
学校運営上、権限や役割を明確にした組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

現状

- 整備商工組合立という立場上、整備商工組合の組織の一部として位置づけられており、理事長を頂点とする運営組織が確立されている。
- 年間カリキュラムや予算は、事業計画を作成し、委員会及び理事会並びに総代会により承認を受けている。さらに重要な案件の実行については稟議書により決済を受け実行している。また、効率的に運営できるように責任分担されている。
- 人事、給与については就業規則並びに諸規定によって規定されている。

3. 教育活動

評価 適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	採点
理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
各科目の教育目標、育成人材像は業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	4
各科目のカリキュラムは、目標達成に向け教育課程が編成されているか	4
教育内容の見直しが定期的に行われているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立った各科目の指導内容、方法等を示したシラバス（教案）が作成されているか	4
学生による授業評価を実施しているか	4
授業内容の設計や授業方法等について、その適否につき把握・評価する体制があるか	3
成績評価・進級認定・修了認定・卒業認定の基準は明確化し、適切に運用しているか	4
目標とする資格・免許はカリキュラム上で明確に定められているか	4
資格・要件を備えた教員を確保しているか	4
教員の教授力（インストラクションスキル）を向上させる研修を行っているか	4
教育活動などに関する情報公開が適切になされているか	4

現状

- 自動車整備業界に求められる人材を、学年ごとに到達目標を決め、それに合ったカリキュラムを実施している。また、国土交通省より認可された一種養成施設であるため、授業の指定科目及び指定時間が設定されている。
- 整備商工組合立の学校ということで、県内整備工場や自動車ディーラー、卒業生からの情報が入手しやすく、時代背景や業界のニーズを授業に反映させることができる。
- 教育課程編成委員会を立ち上げ、委員に教育内容について策定いただいている。
- 複数の企業に学科及び、実技の講義の直接指導をもらう機会をカリキュラム内に設けて、学生と業界のニーズに対応している。
- 年度末に学生アンケートを実施することにより授業評価を行い、改善に役立っている。
- 成績評価・単位認定の基準は学則及び細則に明記されており、特に単位認定については国家試験の実技試験免除の資格基準となっている。
- 目標とする資格は、カリキュラム上の重点項目であり、各科ごとに独自の対策を立ててサポート体制を構築している。
- 業界団体が行う技術研修や外部の行うスキルアップ研修に参加し、計画的に教員の資質向上を図っている。

課題と改善点

- 学年全体の習熟度が必ずしも満足されておらず、指導方法を検討し、更なる改善を進めたい。
- 自動車の技術進歩が速く、時代に対応したカリキュラムを実施するために、企業や卒業生との更なる情報交換を促進する必要がある。

4. 学修成果

評価 適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	採点
就職成果とその推移に関する情報を明確に把握し、就職率向上が図られているか	4
資格取得者数とその推移に関する情報を明確に把握し取得率向上が図られているか	4
その他自動車整備業界関連の資格取得はなされているか	4
卒業生・在校生の社会的な活躍、評価を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

現状

- 当校における生徒入学又は進級者数・退学者数・休学者数・卒業生数・就職希望者数・就職者数

二級自動車整備科

30年度

学年	期	入学又は進級者数	退学者数	休学者数	卒業生数	就職希望者数	就職者数
1年生	49期	44名	11名	1名			
2年生	48期	35名	0名	1名	35名	33名	33名

一級自動車研究科

30年度

学年	期	入学又は進級者数	退学者数	休学者数	卒業生数	就職希望者数	就職者数
1年生	18期	7名	1名	0名			
2年生	17期	13名	0名	1名			
3年生	16期	17名	0名	1名			
4年生	15期	17名	0名	0名	17名	17名	17名

- 当校における自動車整備士試験合格率（卒業生は全員が受験）

二級整備士

	平成30年度
ガソリン	100%
ジーゼル	100%

一級整備士

	平成30年度
一級小型	82.3%

- 就職データを取り、次年度の活動に役立てている。
- 自動車整備士試験や自動車整備業界関連資格について合格者及び合格率を把握しており、その後の対策に役立てている。

課題と改善点

- 一級自動車整備士試験について、近年の問題傾向に対応することが、直近の課題である。

5. 学生支援

評価 適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	採点
学生の就職・進路指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	4
退学率の低減が図られているか	3
就職に関する説明会や学生個別相談を実施しているか	4
就職の具体的活動に関する指導を実施しているか	4
学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	4
経済的な側面に対する支援体制が整備され、有効に機能しているか	3
定期的に健康診断を行うなど学生の健康面での支援体制はあるか	3
スポーツ等の部活動、課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	3
遠隔地出身者のための学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生を支援する体制が整備され、有効に機能しているか	4

現状

- 就職指導に関しては、学年主任を主軸に担任が指導している。いつも接している担任が指導するため細かなところまで指導が行き届いている。
- 毎年、学校独自の企業説明会を実施しており、就職活動に対し学生を喚起している。
- 就職に関しては、個別に履歴書の書き方をはじめ、企業訪問、面接の受け方の指導、筆記・作文・実技試験対策等の指導を行っている。
- 日本学生支援機構の奨学金制度の指定を受けているとともに、特待生制度や入学金減免制度により支援している。
- 野球部、自動車部、サッカー部があり、活動費の補助を行っている。
- 資格によっては卒業後に国家試験があるため、卒業後もフォローアップ講習を行っている。また、再就職の相談にも乗っている。
- 欠席者、成績不良者の保護者にはこまめに連絡している。

課題と改善点

- 二級自動車整備科では、特に1年次において、目的意識の不足や基礎学力の低下が要因での休退学者が多い為、対策を更に推し進めたい。
- 時代のニーズを踏まえた学生の教育環境の整備については、検討中である。
- 学校独自の奨学金制度が設けられていない。

6. 教育環境

評価 適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	採点
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか。	3
学外実習、インターンシップ等、外部の関係機関と連携し、十分な実施体制を整備しているか。	4
学外実習、インターンシップ等について、その実績を把握し教育効果を確認しているか	4
防災に対する組織体制は整備されているか	4

現状

- 学生数に対して十分な実習場面積や教室を備えている。
- インターンシップは千葉県自動車整備商工組合員である県内整備工場に協力をお願いし、即戦力として活躍できるように指導をお願いしている。また、実施後に報告会を開き、教育効果を確認している。
- 毎年4月に避難訓練と称して、緊急時の避難経路の確認や避難器具の取り扱い、初期消火訓練を行っている。また、緊急時に備え、非常食等の備蓄をしている。

課題と改善点

- 教育施設について、老朽化が進み改修が必要なところが多く、引き続き対応したい。

7. 学生募集

評価 適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	採点
学生募集活動は適正、効果的に行われているか	3
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は適正かつ公平な基準に基づき行われているか	4
学生納付金は経費内容に対応し妥当なものとなっているか	4

現状

- 定期的に入学案内書及び募集要項、HPを、校内及び会場ガイダンス、体験入学、学校見学を通じ、意見を参考に改正及び作成している。
- 校内及び会場ガイダンスやHP、契約媒体紙により、在校生・卒業生の教育成果を正確に伝えるよう努めている。
- 入学選考については、選考方法により筆記試験及び面接試験後に判定会議を開き、適正かつ公平に入学の可否を判定している。
- 学費は教育内容や教材の充実度から妥当なものと考えている。また、募集要項に記載されている学費以外に必要な経費は事前に預かり負担を減らしている。

課題と改善点

- 学生募集活動は積極的に行っているが、結果に結びつかず定員に達していない状態が続いている。少子化や若者の車離れの進展、将来選択肢の多様化等により、自動車整備士を目指す若者が激減しており、今後、より一層の改善を図る必要がある。

8. 財務

評価 適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	採点
法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	3
教育目標との整合性を図り予算・収支計画を策定しているか	4
財務に関する会計監査は適正に行われているか	4
財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	4

現状

- 会計監査を適正に実施している。
- 会計報告は会計顧問の指導を受け、年間2回の幹事による監査を実施し、委員会、理事会及び自動車整備商工組合総代会に報告し、HPでも公開している。

課題と改善点

- 学生数減少により収入減となっている。学生募集活動や中途退学者数の抑制に一層の改善を図る必要がある。

9. 法令などの遵守

評価 適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	採点
法令、専門学校設置基準などの遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか。	4
自己評価を公開しているか	4

現状

- 道路運送車両法や学校教育法に基づき、適正に運営している。
- 個人情報の取り扱いについては、母体である自動車整備商工組合と学校独自の取り決めがあり、教職員に徹底し、十分に注意している。

10. 社会貢献・地域貢献

評価 適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	採点
学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献が行われているか	4
学生のボランティア活動を奨励、支援をしているか	3
地域に対する公開講座・教育訓練の受託などを積極的に行われているか	4

現状

- 千葉県自動車整備商工組合、千葉県自動車整備振興会、日本自動車整備振興会連合会を始めとする各団体と協力し、整備士の教育や自動車整備業界の啓蒙活動に寄与している。
- 県内中学校、高等学校の職場体験や模擬授業、文部科学省付帯事業の「学びの場」にも協力している。
- 日本赤十字社千葉県支部に協力し、献血を年2回行っている。
- 自動車やバイクに触れ合う機会が少ない子供達に楽しみながら身近に感じてもらうだけでなく夏休みの自由研究や職場体験としての体験型のイベントをメインにCATSカーフェスティバルを独自に開催している。

課題と改善点

- 近隣の方々との交流が少ないのも事実であり、地域清掃やイベント参加などを増やしたい。
- CATSカーフェスティバルに多くの団体の協力が得られるようにしたい。